

2011年度

科目名	児童サービス論			
担当教員	中道 厚子			
配当	文 2・教育2・人間2		コード	52069
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数 2
授業テーマ	児童サービスの理論と実際を学び、児童サービスを実践できる図書館員をめざす。			
目的と概要	児童サービスの基本目的は、所蔵する児童資料を媒介として子どもたちに本を読むおもしろさ・楽しさを知ってもらうことにある。本講義では、図書館員としてどんなサービス行えばよいかを、理論と実践の両面から学ぶ。			
成績評価法	毎回授講義後に記入するミニレポート(50%) + 課題(50%)			
テキスト	使用しない。授業時にプリントを配布。			
参考書	必要に応じて紹介する			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	理論と実践の両面から力をつけることを目指すので、授業中に配布された資料の精読およびポイントの整理はもちろん、課題へも積極的に取り組んで欲しい。			
講義計画				
第1回	オリエンテーション 児童サービスとは			
第2回	児童サービスの意義			
第3回	児童サービスの歴史 ①明治・大正期			
第4回	児童サービスの歴史 ②昭和・平成期			
第5回	児童サービスの対象とは			
第6回	児童の発達段階と読書①乳幼児期			
第7回	児童の発達段階と読書②児童期			
第8回	児童の発達段階と読書③青年期			
第9回	子どもの読書推進にかかわる様々な動き			
第10回	これからの公共図書館に期待される児童サービス			
第11回	児童図書館資料の選択			
第12回	児童サービスの様々な手法①フロアの活用			
第13回	児童サービスの様々な手法②メディアの活用			
第14回	児童サービスの様々な手法③イベントの活用			
第15回	よりよい児童サービスをめざして まとめ			